

平成16年度事業活動の概要

国立大学法人 神戸大学

I 神戸大学の目標—世界レベルの大学を目指して—

神戸大学は、世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、国際的で先端的な教育・研究の拠点になることを目指します。

「真摯」
「自由」
「協同」

II 国際性豊かな教育の実現に向けて

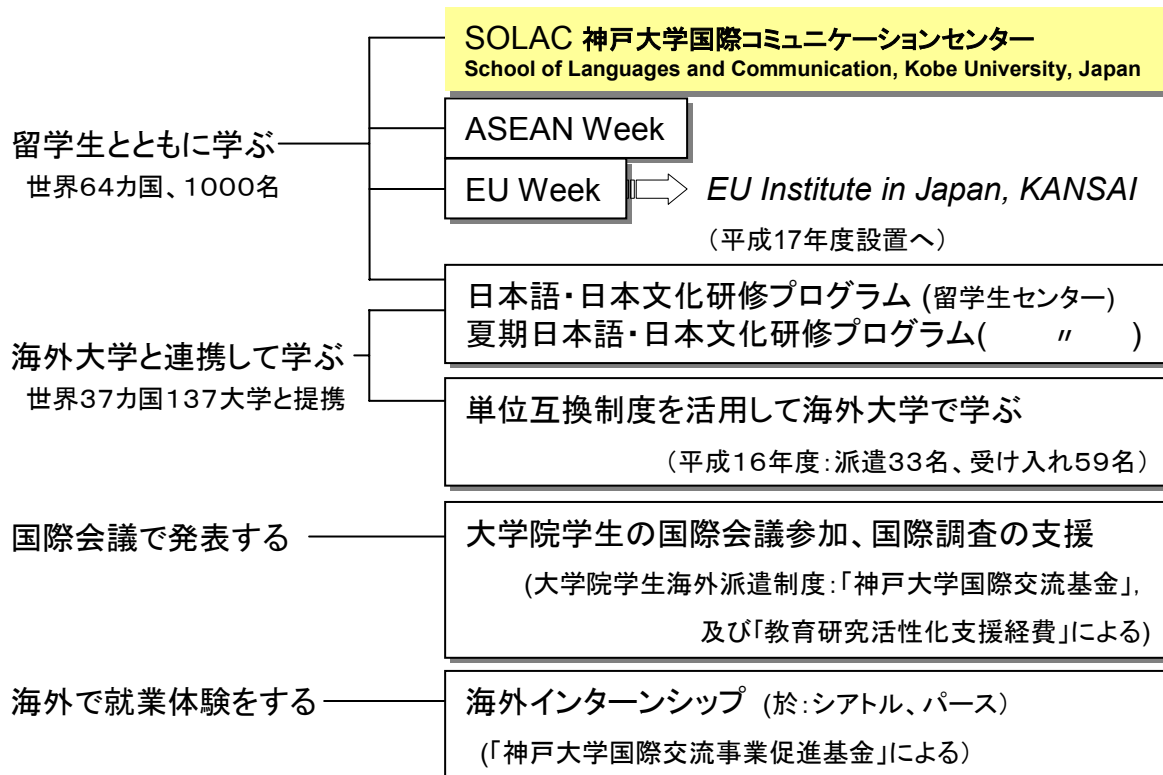
神戸大学アドミッション・ポリシー

教育憲章

1. 進取の気性に富み、人間と自然を愛する学生
2. 旺盛な学習意欲をもち、新しい課題に積極的に取り組もうとする学生
3. 常に視野を広め、主体的に考える姿勢をもった学生
4. コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重する学生

人間性
創造性
国際性
専門性

1 国際性を育む教育環境の整備



⇒ 平成17年度「国際交流推進本部」の設置へ

神戸大学

「教育研究活性化支援経費」
(平成16年度 1.2億円)

2 絶えざる教育革新と責任ある環境づくり

1) 最高レベルの教育のための絶えざる革新

- ・教育内容、方法の改善に挑戦する独創的プログラムを学内公募し、その成果を学内に広めて、教育革新を実現

平成16年度 応募件数35件、採択件数11件(総額 15,130千円)

2) 責任ある教育支援体制の整備

a. 大学案内

- ・受験生のための神戸大学説明会の開催(神戸、大阪、福岡)
- ・高校生のための高大連携科目の開講(「人文科学通論」、「自然科学通論」)
- ・大学講義の高校生への開放
 - 「出前講義」(出張講義)(延べ64回)
 - 大学での体験授業(延べ33回、参加者1,471名)

戦略的人員配置

「就職支援室」

(就職相談員4名)

「神戸大学東京オフィス開設準備室」

(コーディネーター1名)

(補助職員1名)

b. 就職支援

- ・研究室、学部単位の支援と全学支援、及びOB/OG支援との連携
- ・「就職支援室」に4名の就職相談員を配置
- ・「神戸大学東京オフィス開設準備室」
 - 在京のOB/OGとの連携支援
- ・各部局でのキャリア教育の展開

3) 快適な生活環境の提供

- ・良好な教育研究環境を整備維持するための基本方針を策定し、方針に基づく活動を開始

戦略的環境整備

「施設マネジメント委員会」



学生のためのホール

Ⅲ 大学院における高度専門職業人の育成

1) 法科大学院(ロースクール)の設置

- ・充実した教授陣とカリキュラム編成
- ・きめ細やかな指導 専任教員
(専任教員一人当たり学生数2.6人)



法科大学院自習室

2) 経営学研究科社会人MBAプログラム(ビジネススクール)の充実

- ・有職社会人の就学の利便性を考えた
大阪サテライト教室(大阪経営教育センター)の開設



大阪サテライト教室授業風景

IV 世界最先端の研究を推進するために

1) 戦略的な人員配置

- ・世界最高水準の研究を支援するための学長裁量枠からの配置
→「21世紀COEプログラム」7拠点
- ・安定した高度な研究環境を構築し、維持するための責任拠点を設置
→「研究基盤センター」設置と専任教員5名の配置

2) 学問の新たな芽を育てるための神戸大学固有の資金を確立

- ・学内公募による競争的な資金配分
平成16年度 応募件数35件、採択件数11件(総額15,100千円)

3) 国際連携強化のために海外オフィスを設置

- ボスワース記念・神戸大学安全と共生の都市空間デザインセンター(シアトル)
- 中国コラボレーションセンター(北京)

戦略的的人员配置

「COE拠点」

(助手7名)

「研究基盤センター」

(専任教員5名)

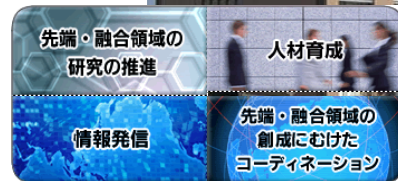
「教育研究活性化支援経費」

(平成16年度 1.2億円)

V 産学官「民」連携による教育研究の新領域の開拓

1) 先端融合領域の研究・人材開発拠点の形成

- ・「神戸医療産業都市構想」との連携
- ・「神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター」の設置
- ・「インキュベーションセンター」の設置
神戸大学発ベンチャー6件入居



2) 民間企業等との協同研究の開拓

- ・「イノベーション支援本部・連携創造センター」
→起業の支援(「ベンチャー支援&研究会」)
→知財の管理
→産学官連携企画と促進
- ・《一日神戸大学》
→神戸大学のシーズを広く公開し、産学連携による外部資金獲得
神戸、姫路、東京等で開催、計11回

戦略的的人员配置

イノベーション支援本部

知的財産マネージャー
起業マネージャー

3) 寄附講座の設置

- ・「臨床薬効評価学講座」
- ・「立証検査医学講座」(シスメックス)

4) 国内における地域連携活動の促進

- ・全学として地域連携を戦略的に推進
 - 「地域歴史遺産の活用を図る地域リーダー養成」
(現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム)
- ・阪神淡路大震災に関する研究と資料収集成果の活用
 - 「阪神淡路大震災10周年事業」
- ・地元自治体との包括協定によるあらたな教育研究分野を開拓
 - 神戸市灘区、兵庫県生野町(現 朝来市)、兵庫県小野市

地域連携推進室

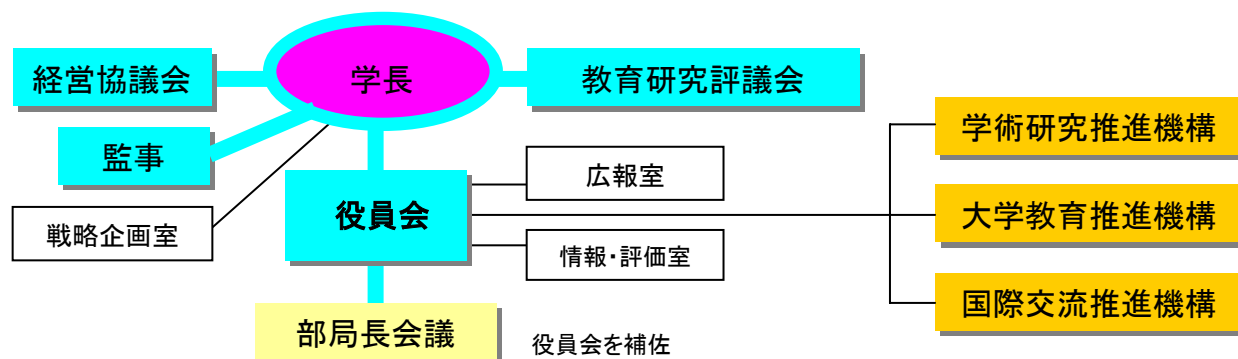
- ・地域歴史遺産を活かした地域づくり
- ・障害を持つ子供達にやさしい地域づくり
- ・自然環境の活用による魅力ある地域づくり など

5) 海外地域との連携活動の促進

- ・JICA事業の受託
 - 「大都市地震災害軽減のための総合戦略」(都市安全研究センター)
 - 「ラオス国立大学経済経営学部への教育研究支援」(国際協力研究科)
- ・バンダアチェ地区(インドネシア)の津波災害調査と復興支援
(工学部、都市安全研究センター、医学部)

VI 学長がリーダーシップを発揮できる運営体制の整備

1 神戸大学法人の運営体制



- 1) 経営協議会の積極的活用
- 2) 三つのマネジメント拠点(戦略企画室、広報室、情報・評価室)の設置
- 3) 監査機能の充実

2 法人運営における戦略的人員配置

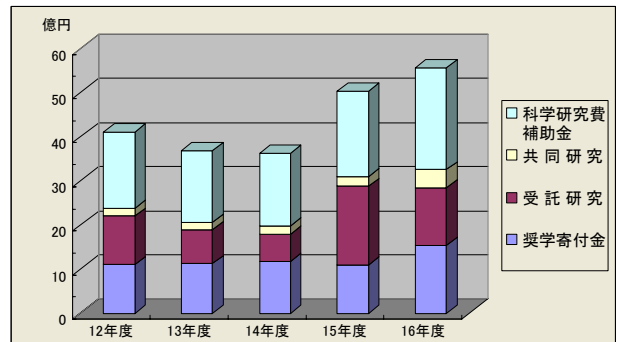
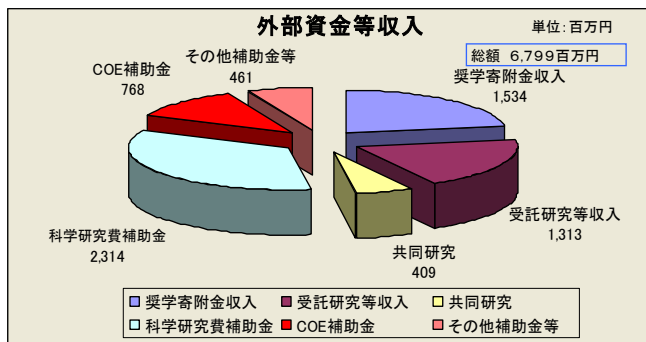
- 1) 学長裁量枠の設定(平成15年度末教員定員の5%)と戦略的人員配置
 - ・COE研究拠点
 - ・研究基盤センター、保健管理センター(産業医)、環境管理センター
 - ・戦略企画室、広報室、情報・評価室
- 2) 大学運営の機動性を高めるための事務部門の強化
 - ・「安全衛生室」「イノベーション支援室」「就職支援室」「施設マネジメント室」等の設置
- 3) 特定の職務を担う教員について、任期を付して任用する「特任教員制度」を導入
- 4) 優秀な人材の恒常的確保
 - ・医学部附属病院において、非常勤看護師や非常勤臨床工学技士の常勤化を可能とする制度の整備

3 予算配分方式と執行管理体制の全面的改革

(単位:千円)

- 1) 予算編成の基本理念と予算配分の実務方針の策定
 - ・自己収入、及び個性ある発展と変革の促進に対しインセンティブが働く方式の確立
- 2) 学長裁量予算枠の確保と活用
 - ・学長のリーダーシップを発揮
 - ・本学の特徴を生かせる事業目的別の戦略的配分
- 3) 外部研究資金その他の自己収入の増加
 - ・科学研究費補助金、共同研究費、奨学寄附金等の増加

法人化必要経費	340,397
阪神淡路大震災10年事業	18,966
大学保有特許出願事業経費	20,126
CALL教室整備事業	25,125
営繕経費等	402,000
収入確保インセンティブ経費	41,433
部局長裁量経費	429,051



- 4) 経費抑制
 - ・人件費の節減(指定職適用の見直し等)
 - ・管理的経費の節減(光熱水費、旅費、印刷経費等の抑制)

4 点検・評価に基づくマネジメント体制の確立

- 1) 学内での自己評価体制の強化
- 2) 有識者による外部評価の実施
- 3) データベース(KUID)の構築

4) 計画的な施設整備と環境整備のための評価体制の強化

- ・「施設マネジメント委員会」の設置
- ・施設環境保全調査(カルテ化)に基づく
詳細な分析と評価
- ・持続的な施設維持管理の実施、及び営
繕の優先順位と緊急性の判断

施設環境保全調査票(カルテ)

便所点検記録		考査状況			
調査年度	調査箇所	部位	点検項目	判定	備考
2014年度	第1号館	床	ひび割れ、欠け、割れ、浮き、剥離及び磨耗などがない	△	ビニル床シート
		壁	ひび割れ、欠け、割れ、浮き、剥離及び磨耗などがない	△	9/9
		天井	ひび割れ、欠け、割れ、浮き、剥離及び磨耗などがない	○	吹付け
		便所隔て及び扉	変形、破損、さび及び腐食などがない	×	
		洗面	亀裂、破損などがない	○	
		便器	亀裂、破損などがない	○	
		臭気	有・無	無	
		その他			

5) 安全で快適な環境を構築

- ・産業医、衛生管理者、安全主任者による
構内巡視、及び安全衛生委員会での
審議
- ・情報の学内共有、及び勧告に基づく安全
で快適な環境の構築

5 施設・設備の整備

1) 既存施設の効率的・重点的な利用と有効な施設運営

- ・「施設の有効活用に関する取り扱い要項」に基づく共用スペースの確保
- ・積極的な施設使用の許可

2) 社会科学系部局の総合研究棟の新営

- ・六甲台1団地に総合研究棟「社会科学系フロンティア館」が完成
(地上8階・地下2階)
- ・社会科学系学部5部局の共用室・院生研究室の不足と社会科学
系図書館の狭隘化の解消



社会科学系フロンティア館

3) 理学系学舎の改修

- ・建物機能老朽化、学生教員の定員増加による建物の狭隘化等を
解消(鉄筋コンクリート造、地上4階、建築面積1,599㎡
(述べ床面積5,570㎡))



理学系学舎

4) 農学部附属食資源研究センターの繁殖育成牛舎の増築

- ・繁殖・飼育技術による優秀な但馬牛の繁殖と「神戸大学ビーフ」の市販を行うための増築

(鉄骨造, 地上1階, 増築426.6㎡(既設333.5㎡, 合計760.1㎡))



繁殖育成牛舎

5) PFI事業による立体駐車場の整備

- ・医学部附属病院の外来患者の利便性向上
- ・附属病院周辺の交通渋滞の緩和等の環境整備

(鉄骨造3階4層, 延床面積 7, 440㎡, 収容台数355台)



PFI事業による立体駐車場

6) 海事科学部に海事博物館が発足

- ・地域に開かれた施設
- ・所蔵品の一部をデジタル化し, 海事科学部のホームページから閲覧が可能



海事博物館

6 社会に開かれた大学を目指すための情報公開・広報活動

1) 個人情報の保護

- ・「情報セキュリティポリシー」の改訂
- ・「個人情報管理規則」等の制定

2) 広報体制の整備

- ・「広報室」の設置と専任教職員の配置
- ・ホームページ、広報誌の編集方針、内容等の抜本的改革
 - 「広報室会議」(協力教員4名)によるホームページの恒常的な点検と改善
 - 英文ホームページに加えて、英語、中国語、韓国語による大学案内の編集
 - 研究・教育・産学連携誌『神戸大学最前線』(3千部、年2回)の刊行
 - 受験生、保護者、新入生対象誌『KOBЕ university STYLE』(3万部、年2回)の刊行
- ・「神戸大学東京オフィス開設準備室」の設置
 - 首都圏での情報の発信・収集と知名度の向上
 - 在学生の就職活動支援等

戦略的人員配置

広報室

- (広報マネージャー1名)
- (ホームページ担当助手1名)
- (非常勤職員1名)